

どうぞうじゅういちめんかんのんざぞう

銅造十一面観音坐像



- 種別
有形文化財
彫刻
- 指定年月日
昭和50年2月19日
- 所有者・管理者
石川徳利氏宅

石川家の守本尊として源義家の二男、五郎義時の時代より代々伝わる銅造の仏像です。

以前は、懸仏^{かけほとけ}と称して銅製の円板型の光背に取り付けて礼拝していましたが、現在では写真のような光背を取り付け安置されています。

像高 21.5 センチ